

WANTED !

外来カミキリムシにご用心！

サクラ・ウメ・モモピンチです

もともとは日本にいないクビアカツヤカミキリという大きなカミキリムシが、国内で相次いで見つかっています。この虫はサクラやウメ・モモなどの木の幹の内側を食い荒らして、被害がひどくなると木は枯れてしまいます。この虫を見つけたらすぐに「退治」が一番です。下の写真のようなカミキリムシの成虫や、サクラなどの木からの虫のくいかす(フラス)を見つけたら、地元の自治体および森林総合研究所にお知らせください。



成虫 5月の末から7月まで見られます。
6月に多く出てきます。
体の大きさは触角ぬきで3-4cm。



フラス(幼虫の糞と木くず)
ひき肉状に連なって出てくること多いですが、
春先や枯れた木からはパラパラとまともらずに出てきます。



脱出孔 成虫は細長い穴
を幹にあけて出てきます。



幼虫が木の中に多いと、フラスが
地面を覆ってしまうこともあります。

問い合わせ連絡先 1

自治体名
担当部署
電話
電子メール

問い合わせ連絡先 2

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所 森林昆虫研究領域
穿孔性昆虫担当チーム
電話 029-829-8251
電子メール sakurakamikiri@ml.affrc.go.jp